

令和 8 年 10 月 23 日
愛 媛 大 学

愛媛大学工学部 矢野寿洋准教授が設計した建築が JIA 四国建築賞「大賞」と「2026年度グッドデザイン賞」2 件を受賞 ～愛媛県産 CLT を活かす、研究と設計実践の成果～

このたび、愛媛大学工学部 建築・社会デザインコースの矢野寿洋准教授が設計した「だんだん PARK(ネットヨタ愛媛本店)」が第7回 JIA 四国建築賞2026の「大賞」(10月8日発表、四国で2年に一度開催され、1作品のみが選ばれる最高賞)に、「第76回全国植樹祭 お野立所」と「しみずクリニック 泌尿器科・内科」が日本デザイン振興会主催の「2026年度グッドデザイン賞」(10月15日発表)に選ばれました。



左:だんだん PARK(JIA 四国建築賞 大賞)、中:お野立所、右:しみずクリニック(グッドデザイン賞) 撮影:西川公朗

3作品はいずれも、愛媛県内で製造される国内最大級(3m×12m)の CLT(直交集成板)を、特殊な金物に頼らない一般的な接合で構造と仕上げを兼ねて使う設計手法によるもので、県内で完結する木材のサプライチェーンを設計の工夫で建築に結びつける、本学の研究と設計実務を往復する取組の成果です。

矢野准教授は令和 8 年 4 月開設の建築・社会デザインコースで設計教育を担当しており、「今年からはじまった大学での建築教育でも、学生たちに愛媛の木の活用を学んでもらいたい」と話しています。詳細は別紙をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

愛媛大学工学部

准教授 矢野 寿洋

TEL : 089-927-9819

Mail : yano.toshihiro.gx@ehime-u.ac.jp

※送付資料 2 枚(本紙を含む)

■ ポイント

- 愛媛大学工学部 建築・社会デザインコースの矢野寿洋准教授（一級建築士）が設計した「だんだん PARK（ネットトヨタ愛媛本店）」が第 7 回 JIA 四国建築賞 2026 の「大賞」（10 月 8 日発表、四国で 2 年 1 作品の最高賞）に、「第 76 回全国植樹祭 お野立所」と「しみずクリニック 泌尿器科・内科」が 2026 年度グッドデザイン賞（10 月 15 日発表）に選ばれました。
- 3 作品はいずれも愛媛県内で製造される国内最大級（3m×12m）の CLT（直交集成板）を、特殊な金物に頼らない一般的な接合で、構造と仕上げを兼ねて使う設計手法によるものです。県内で完結する木材のサプライチェーンを設計の工夫で建築に結びつける、本学の研究と設計実務を往復する取組の成果です。
- お野立所は本年 5 月に愛媛県で 60 年ぶりに開催された全国植樹祭で天皇后両陛下をお迎えした式典建築で、本年度は木材利用推進コンクール「木材利用推進中央協議会会長賞」、ウッドデザイン賞 2026 も受賞しています。

JIA 四国建築賞 2026 大賞

｜だんだん PARK



だんだん PARK（西川公朗撮影）

松山市の自動車販売店本社。「段々」に重なる屋上駐車場と緑地を公園のように市民に開き、販売店に加えカフェや地域イベントの場や屋内遊び場など複数の機能を複合。CLT 耐震壁を音響効果も考慮し施設のシンボルとして多目的ホールに設置。様々なイベントが毎週企画され、テラスには子どもが遊びに訪れるなど、民間が地方都市の公共空間を担う姿を示しました。

所在地	松山市空港通／2023 年
規模	鉄骨造・3 階／延床 5,497.97m ²
設計施工	施主：ネットトヨタ愛媛／設計：矢野青山建築設計事務所／構造：平岩構造計画／施工：トライアル

グッドデザイン賞

｜第 76 回全国植樹祭 お野立所



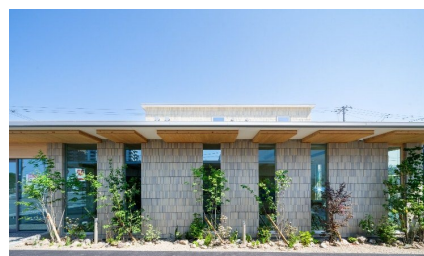
お野立所（西川公朗撮影）

左右の屋根と床を、構造と仕上げを兼ねた CLT パネル 4 枚ずつで構成。板を点対称に 60 度ずつ回転させ 2m ずらして重ね、採光・通気・雨仕舞い・構造を同時に成立させました。石鎚山を連想させる佇まいは構造合理性も兼ね備えます。接合はすべて乾式で、式典後に解体した CLT は家具などに再利用されています。

所在地	松山市上野町（総合運動公園多目的広場内）／式典 2026 年 5 月 17 日（式典後解体）
規模	建築面積 77.71m ² ・最高高さ 12.17m（仮設）
設計施工	矢野青山建築設計事務所／構造：平岩構造計画／施工：大江工務／CLT：サイプレス・スナダヤ

グッドデザイン賞

｜しみずクリニック 泌尿器科・内科



しみずクリニック（西川公朗撮影）

受付・待合・中待合をひとつながりの回遊型プランで結び、光と緑を感じられる構成。回遊部屋根に県産ヒノキの CLT を長方形の板のまま梁に「載せてビス留め」し、板の隙間を設備スペースとして天井を貼らず木の面を見せています。地元工務店の技術で施工できる、簡素で確実な CLT の使い方を示しました。

所在地	松山市間屋町／竣工 2025 年
規模	木造一部 CLT 造・2 階／延床 235.13m ²
設計施工	矢野青山建築設計事務所／構造：平岩構造計画／施工：トライアル／CLT：サイプレス・スナダヤ

■ 研究との関わり

矢野准教授は、設計事務所（矢野青山建築設計事務所、松山市）の共同主宰として設計実務を行いながら、本年 4 月に開設された工学部「建築・社会デザインコース」（一級建築士受験資格に対応）で設計教育と地域建築の研究に携わっています。CLT を「はさむ・のせる・たわませる」という単純な操作で使い、地方の工務店が再現できる構法として体系化する研究を進めており、とべ動物園エントランス（CLT 一枚屋根）など県内の実作を通じて検証を重ねてきました。成果は国際学術誌 Japan Architectural Review への投稿や、11 月 20 日に西条市で開催される CLT 建築普及セミナーでの講演等を通じて発信していきます。

■ 矢野准教授のコメント

「愛媛の森で育った木が、県内の工場一枚の大きな板になり、それをできるだけそのままの姿で建築にする。式典の中心に立つ建築も、毎日患者さんが訪れる診療所も、同じ一枚の板から出発しています。愛媛県内の資源と技術で魅力的な建築になりうることを示せたのが、いちばん嬉しいことです。今年からはじまった大学での建築教育でも、学生たちに愛媛の木の活用を学んでもらいたいと思います。」